

抽御祈禱丹誠之由、所被仰下也。仍執達如件。

一五〇一

永祿十二年五月十三日

(飯尾貞遠) 右馬助 在判
(諏訪晴長) 前信濃守 在判

善法寺雜掌

(能美三ヶ庄は乃美・長野・一針庄をいふ。山上郷内の能美三ヶ庄の意にあらざることは、文龜四年二月十八日の條を見て知るべし。)

貞 遙 在判
晴 長 在判

七月三日。幕府、山城賀茂別雷社に、同社領河北郡金津莊を安堵せしむ。

一五〇一

【賀茂別雷神社文書】

一五〇三

【賀茂別雷神社文書】 山城 當社領加賀國金津莊事當知行之處、國錯亂以來無沙汰云々。太不可然。所詮靜謐之上者、爲直務全領知可被抽御祈禱丹誠之旨、所被仰下也。仍執達如件。

永祿十二年七月三日

(飯尾貞遠) 右馬助 在判
(諏訪晴長) 前信濃守 在判

賀茂社雜掌

【賀茂別雷神社文書】 賀茂社領加州河北郡金津莊事、年貢諸公事物以下、如先々對社家下代、速可及其沙汰之旨、所被仰出之狀如件。

永祿十二年十月十日

當所名主百姓中

(下間親總) 證 念 在判

【賀茂別雷神社文書】

一五〇四

賀茂社領加州河北郡金津莊事、年貢諸公事物以下、如先々對社家下代、速可及其沙汰之旨、百姓中堅可被申付之由、被仰出候也。仍執達如件。

中西子息

永祿拾貳年_巳八月十五日

二 位 在判

永 光 寺 參

永祿十二年十月十日 證 念 在判
蛭川勘解由左衛門尉殿

同 與 衆 中

八月十五日。中西二位、鹿島郡永光寺に、羽咋郡菅原の地を寄進す。

【伊佐早文書】 羽前

一五〇六

奉 轉 讀

大般若經 一部

【永光寺文書】 鹿島郡

合壹段者 在菅原郷橋號柿木町

右彼田地者、雖爲櫻氏女妙青重代相傳之地、爲淨玖菩提永代永光寺之御開山和尚に、奉寄進所實正明白也。年貢米六俵、上成貳百貳拾文、諸役無之候。彼田地之本券、吉野屋曉照寺五派之連署相添被參候。萬一如何様之者競望候共、此以本券寄進之旨、全可有御寺務者也。仍爲後日寄進狀如件。

一五〇五

右爲護持_(上杉輝虎)大施主息災延命武運長久、當陣勝利決定成就、決定圓滿、殊致精誠、祈所如右。
永祿十二年九月吉日 天 平 寺 大 衆 等

十月七日。幕府、山城勸修寺門跡に、同門跡領江沼郡郡家莊を安堵せしむ。

【勸修寺文書】 山城

一五〇七

勸修寺御門跡領加賀國郡家庄事、帶御代々御判御下知等